

平成26年3月7日
公益社団法人福岡県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の
補填金単価（平成26年1月販売分）について

平成26年1月に県内の契約生産者が販売した交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成25年4月1日付け24農畜機第5478号）第6の9の補填金単価については、下記のとおりです。

記

肉専用種
19,500円

注1：牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち肥育経営の支援対策（特例措置）として、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。

注2：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。

(<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>)

連絡先

公益社団法人 福岡県畜産協会
経営指導部基金事業課 担当:杉本
TEL 092-641-8723 FAX 092-642-1276

平成25年度 新マルキン事業補填金算定基礎
【平成26年1月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	883,438
生産コスト (B)	907,815
差額 (C) = (A) - (B)	(24,377)
補填金単価	19,500

注：100円未満切り捨て

粗収益 (A) = ① + ②	883,438	
主産物価格 ① = a × b	872,340	※
枝肉市場価格 (円/kg) a	1,860	※
枝肉重量 (kg) b	469	※
副産物価格 ②	11,098	
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	907,815	
物財費 ③	800,989	
もと畜費	425,492	※
飼料費	300,412	
流通飼料費	298,156	
麦類	14,753	
とうもろこし	17,962	
ふすま	14,068	
かす類	9,882	
配合飼料	203,890	
稲わら	20,340	
その他	17,261	
牧草・放牧・採草費	2,256	
敷料費	13,800	
光熱水料及び動力費	11,348	
その他の諸材料費	370	
獣医師料及び医薬品費	7,729	
賃借料及び料金	4,165	
物件税及び公課諸負担	5,571	
建物費	15,571	
自動車費	6,215	
農機具費	8,673	
生産管理費	1,643	
労働費 ④	83,707	
家族	79,199	※
費用合計 ⑤ = ③ + ④	884,696	
支払利子 ⑥	11,690	
支払地代 ⑦	441	
と畜経費 ⑧	10,988	
参考		
自己資本利子	8,909	
自作地地代	2,660	

※ 県独自に算定を実施。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、大阪市中央卸売市場、神戸市中央卸売市場
福岡市中央卸売市場、兵庫県加古川食肉地方卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

ホクレン南北海道家畜市場、中央家畜市場、五島家畜市場、
宇久小値賀家畜市場、壱岐家畜市場、平戸口中央家畜市場、熊本県家畜市場、
南阿蘇家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、都城地域家畜市場、
小林地域家畜市場、児湯地域家畜市場、高千穂家畜市場、薩摩中央家畜市場、
曾於中央家畜市場、種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、
沖永良部家畜市場、与論家畜市場、伊江村家畜市場、宮古家畜市場